コンクリート構造物断面修復用モルタル　（高流動タイプ）

U-リペアフロー N

◆東日本・中日本・西日本高速道路株式会社:構造物施工管理要領
「打込み工法による断面修復の性能照査項目」適合

U-リペアフローはMUマテックス㈱の商標登録です

U-リペアフローNは、流し込みタイプの断面修復用ポリマーセメントモルタルです。
一般の充填材（グラウト材）と同様に、流動性に優れ、良好な充填性を発揮します。

■ 特　長

- **施工性**
  オールプレミックスのため、現場では水と混ぜるだけです。
  流動性があり、ポンプ圧送による施工が可能です。
- **耐ひび割れ性**
  収縮が非常に小さく、さらに特殊繊維をプレミックスしているため、耐ひび割れ性に優れています。
- **耐久性**
  中性化抵抗性や塩化物イオン拡散抵抗性が高く、一般的なグラウト材等の流し込み材料と比較して高い耐久性があります。

■ 主な用途

- 橋脚、梁、高欄、床版、トンネル及び建築物（天井・床・壁）など劣化したコンクリート構造物の断面修復。

■ 標準配合

配合	U-リペアフローN	水※1	練上がり量※1	標準施工量（10㎜厚 ロスなし※2）
1袋あたり	25kg	3.6～3.9kg	約13.0ℓ	約1.3㎡
1㎥あたり	1,900kg（76袋）	274～296kg	約1,000ℓ	100㎡

※1：水量及び練上がり量は、練り混ぜ方法、季節（気温、水温等）により変動します。
※2：実際の施工では、施工方法に応じた適切なロス率を考慮して、必要量を計算してください。

25kg袋

■ 性能試験結果例

基本性能（東日本・中日本・西日本高速道路株式会社「構造物施工管理要領」試験方法による）

試験項目		試験結果	規格値
Jロート流下値（秒）		8.5	—
グラウトモルタルの流動性（秒）（Pロート）		69	20～75
単位容積質量（kg/ℓ）		2.19	—
圧縮強度（N/㎟）	材齢7日	43.4	—
	材齢28日	54.3	設計基準強度以上
硬化収縮性（$\times 10^{-4}$）		4.4	5以下
コンクリートとの付着性（N/㎟）		1.8	1.5以上
中性化速度係数（㎜/√週）		0.08	補修設計で定めた規定値以上
塩化物イオン拡散係数（㎠/年）		0.21	補修設計で定めた規定値以上
鉄筋背面への充填性		空隙の合計長 0㎜	有害な空隙がないこと

MUマテックス株式会社

■ 施工方法

施工前に、必ず施工要領書及びSDSをお読みください。

1. 下地処理

●脆弱部除去

・劣化した脆弱部分等をはつり取り、健全なコンクリート面を露出させてください。
施工面は、圧縮エア、高圧洗浄水等で清掃してください。

・欠損が大きい場合は、アンカー、メッシュの取り付け等はく落防止対策を行ってください。

●防錆処理

・鉄筋が錆びている場合は、ケレン等により錆を落とし、「**U-ペーストⅡ**」を使用して防錆処理を行ってください。

●吸水調整処理

・湿潤状態でない環境の場合は、吸水調整材としてU-プライマーHDの3倍希釈液を塗布量0.15kg/m²をハケで摺り込むように塗布してください。

●型枠の取付け

・型枠の取付けは、モルタルの側圧、自重及び床版の動きに耐えられるような構造にしてください。

2. 混　練

●ハンドミキサー練り

・ディスクタイプ高回転型のハンドミキサーを推奨します。アルミ製の撹拌羽根は使用しないでください。

・練り混ぜ容器に所定の上水を計量してください。

・ハンドミキサーを回転させながら、「U-リペアフロー N」を徐々に投入し、所定量全量投入後、3分間均一に練り混ぜてください。

※モルタルの温度は10℃～35℃の範囲となるように調整してください。モルタルを加温・冷却することは絶対にしないでください。

●グラウトミキサー練り

・練り混ぜ量に対する所定の上水をミキサーに投入し、グラウトミキサーの撹拌を開始した後に「U-リペアフロー N」を所定量(2～5袋)投入してください。

・撹拌は3分間行い練り混ぜ後のスラリーは直ちに充填作業を行ってください。

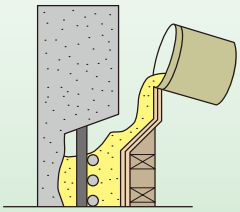
3. 充　填

●充　填

・充填は、流し込み、ポンプ注入などにより、充填箇所に空気泡が残存しないよう注意しながら充填してください。

・充填時のモルタル温度は、暑中において35℃以下、寒中において10℃以上の範囲とします。

・充填箇所及びモルタルが接する周囲部分の温度が高い場合は、覆いまたは散水などを行って、温度が高くならないように注意してください。複数袋のモルタル量が必要な場合は、作業時間を短縮するために、グラウトミキサーの使用をお奨めします。



4. 養　生

●養　生

・表面の乾燥、雨打たれ、直射日光による温度上昇及び冷気による温度低下等、硬化に悪影響が予測される場合は、シート等の覆いを流し込み面に被せ、養生を行ってください。

・養生期間中は、振動や衝撃等を与えないように注意してください。

使用上の留意事項

◆ **施工上の留意事項**

- 施工中および施工後の気温が5℃未満となる恐れがある場合は、施工を中止するか、保温、採暖等により凍結防止措置を必ず講じてください。
- 高温時の施工では、モルタル温度が上昇し流動性の低下や、可使時間が短くなる場合があります。施工前の試し練り等により、適切な水量を確認することを推奨します。
- 現場で、弊社指定材料以外の材料(砂、セメント等)の追加混合は避けてください。
- 一旦開封した製品は、即日中に使い切ってください。
- 製品は、所定の使用期限内でご使用願います。製品の使用期限は、それぞれの施工要領書をご確認ください。
- ご使用後の器具類は、直ちに水洗いしてください。

◆ **保管上の留意事項**

- 保管は、パレット積み等により、地面、床面から10cm以上の隙間を確保し、雨露の掛からない、湿気の少ない場所で保管してください。
- プライマー、エマルジョン等の水系材料は、低温時に凍結しないよう注意願います。

※詳細につきましては、各製品の施工要領書および技術資料を必ずお読みください。

◆ **取扱い時の注意事項**

- 使用前に、施工要領書等の取扱い説明書を必ずお読みください。
- 取扱いの際は、必ず保護メガネ、防護マスク、ゴム手袋等の保護具を着用し、目や皮膚への付着、口からの吸引を防止してください。

◆ **廃棄上の注意事項**

- 使用済み製品を廃棄する場合は、内容物・容器を都道府県知事の許可を受けた専門の産業廃棄物処理業者に処理をご依頼ください。
- 施工中に発生した排水等は、水質汚濁防止法等の関係法規・条例に基づき廃棄してください。

※詳細につきましては、各製品のSDS(安全データシート)を必ずお読みください。

本カタログ記載内容についての注意事項

◆ 本カタログの記載内容は、予告無しに仕様や記載事項を変更する場合がありますので、予めご了承願います。
◆ 本カタログ記載の性能、物性等の諸データ値は、弊社実験による測定値であり、その数値、性能を保証するものではありません。
◆ 製品の性能は、環境条件や使用方法等により本カタログ記載内容と異なることがあります。事前に使用目的に応じた施工テストを行い、製品の適合性と安全性を確認してください。

MUマテックス株式会社

リニューアル営業部
〒105-0023 東京都港区芝浦1丁目2番3号シーバンスS館10階
Tel: 03-5419-6209　Fax: 03-5419-6269
https://www2.mu-cc.com/ubekenzai/

東京支店 〒105-0023 東京都港区芝浦1丁目2番3号 シーバンスS館10階 Tel: 03-5419-6209
大阪支店 〒530-0057 大阪市北区曽根崎2-5-10梅田パシフィックビル6階 Tel: 06-4309-5826
名古屋支店 〒460-0008 名古屋市中区栄3-1-1広小路本町ビルディング5階 Tel: 052-265-5840
広島支店 〒730-0031 広島市中区紙屋町2-1-22広島興銀ビル8階 Tel: 082-244-7234
九州支店 〒810-0001 福岡市中央区天神1-2-12メットライフ天神ビル8階 Tel: 092-781-2309
東北営業所 〒980-0014 仙台市青葉区本町2-2-3鹿島広業ビル8階 Tel: 022-262-6235
札幌営業所 〒007-0801 札幌市東区東苗穂一条1-2-44 Tel: 011-784-8183

販売取扱店

2024. 9. 2000 Ⓔ